

《 競 技 注 意 事 項 》

1. 規則について

本記録会は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会申し合わせ事項による。

2. 競技場について

競技場が開門していない場合は、絶対に場内に入らないこと。**開門時間 7:30 (予定)**

競技場は、全天候舗装である。トラック走路の厚さは13mm、フィールド助走路の厚さは18mmである。スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳、やり投のピンの長さは12mm以下とする。これらのスパイクピンの直径は、先端が4mm以内、スパイクのピンの本数は11本以内とする。走路の保全と競技者の安全のため、競技規則TR5を厳守すること。

3. 練習について

練習は、競技役員の指示に従って、補助競技場で行うこと。フィールド競技の練習は、現地での最終チェック後競技場内で行うことができる。特に投てき練習は、役員の指示に従って、試技順に競技場内で行うこと。

競技に支障のない範囲で主競技場のバックストレートを開放する場合がある。その際、競技役員の指示に従い、事故には十分注意すること。

最初の競技開始30分前まで主競技場を練習に開放する。その際、1~3レーンは周回練習、5~8レーンはスピード練習、ただし、ホームストレートの7・8レーンはハードル練習とし、4レーンにコーンを設置する。なお、競技役員及び競技者以外は、トラック・フィールドに立ち入らないこと。

※ フィールド種目の練習開始時刻は、競技役員の指示に従うこと。

※ 三ツ沢競技場では競技場・補助競技場以外のいかなる場所でも練習は禁止する。特に駐車場内での練習は厳禁。

4. 招集について

招集は招集所(競技者係)において本人が行うこと。その後現地での最終チェックを行う。招集時刻は、競技日程に記載されたとおりとする。なお、招集はアスリートビブス確認のため、必ずユニフォームを着用して受けること。

※リレーのオーダー用紙は、最初のグループ招集完了時刻1時間前に提出すること。

※棒高跳の招集は競技場ピットで実施する。

※2種目同時に出場する競技者は、予めその旨を本人または代理人が競技者係に申し出て「同時出場届」を受け取り、必要事項を記入のうえ提出する。

5. アスリートビブスについて

アスリートビブスは、主催者が用意したままの状態(縦16cm、横24cm)で使用する。跳躍種目では、アスリートビブスを背または胸につけるだけでもよい。

① 3000m・5000m・5000mWの出場者は、競技者係で特別ナンバーカード、写真判定用腰ナンバー標識(レーン番号標識)、周回確認用腰ナンバー標識を受け取り、写真判定用は右腰のやや後方に、周回確認用は左腰につける。

なお、周回確認用腰ナンバー標識は競技終了直後にフィニッシュ地点で返却すること。

② 3000mSCの出場者は、競技者係で特別ナンバーカードと写真判定用腰ナンバー標識を受け取り右腰のやや後方につける。

③ ①②以外のトラック種目出場者は、競技者係で写真判定用腰ナンバー標識だけを受け取り、右腰のやや後方につける。

④ トラック種目の出場者は安全ピン12個(3000m・5000m・5000mWの出場者は16個)を、フィールド種目の出場者は安全ピン8個を、各自で用意すること。

※写真判定用腰ナンバー標識、特別ナンバーカード共に競技終了後の返却はしなくてもよい。

6. トラック競技について

・トラック競技は、すべて電気計時とする。

・1回の不正スタートで失格とする。

※**スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告(イエローカード)を与えられる事がある。**

・競技運営上、次の制限タイムを設定する。(残り1週の通過タイム)

男子 5000m (19分以内) 3000mSC (13分以内) 5000mW (35分以内)

女子 3000m (14分以内) 5000mW (35分以内)

7. フィールド競技について

フィールド競技の試技順は、プログラム記載の順番に従い行う。走幅跳・三段跳・投擲種目については、3回試技とする。

跳躍競技のバーの上げ方は、次のとおりである。(荒天の場合は、別途指示する。)

	種目	練習	バーの上げ方							
男子	走高跳 (1)	1m70 又は 1m90	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m03	以後 3cm
	走高跳 (2)	1m40 又は 1m65	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m68	以後 3cm	
	棒高跳	現地競技役員の指示に従う								
女子	走高跳 (1)	1m40 又は 1m55	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	以後 3cm	
	走高跳 (2)	1m20 又は 1m35	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	以後 3cm	
	棒高跳	現地競技役員の指示に従う								

※走幅跳の助走路は、(A) はトラック側、(B) はスタンド側とする。

8. 競技用具について

- 棒高跳のポール・砲丸・円盤・やり・ハンマーは各自持参したものを、各競技開始 90~60 分前までに検査を受けて使用することができる。
- フィールド競技用シューズについては競技規則TR 5 (シューズ) を適用しない。
- 高校男子砲丸の重さは、6.000kg とする。
- 高校男子円盤の重さは、1.750kg とする。
- 高校男子ハンマー投の重さは、6.000kg とする。

9. 抗議について

競技規則TR 8にもとづき、競技者自身、もしくは代理人から審判長へ口頭でなされる。裁定に不服の場合は競技者に代わる責任者が上訴申立書と預託金 10,000 円を総務に提出する。(正式アナウンス後 30 分以内とする。)

10. 欠場について

各種目にやむをえず欠場をする者は、できるだけ早く招集所競技者係に申し出ること。「欠場届」は招集所で配布する。

11. 助力について

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助言については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。また、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことができない。(競技規則TR 6)

12. 警告について

- 競技規則TR7の規定により、違反があった競技者やリレーチームに審判長よりイエローカード(以下YC)を提示し警告を与える。
- 2回のYCの提示を受けた競技者やリレーチームは失格または競技会から除外される。

13. その他

- 競技場及び競技順序を確認すること。
- プログラムの訂正は、速やかに庶務係に申し出ること。
- 使用した観覧席はきれいにし、ゴミは原則として持ち帰りとする。特に、自分たちで持ち込んだダンボール紙等は必ず持ち帰ること。
- 更衣室は、密にならないようにし更衣のみに使用すること。各団体の控室のように使用しないこと。
- 正面スタンドに、横断幕を張らないこと。
- スタンド最前列では、立っての応援は禁止とする。
- 役員・選手以外のトラック・フィールドへの立ち入りを禁ずる。
- 貴重品の管理は、各団体・個人で責任をもって行うこと。
- 全競技終了後は、速やかに競技場外に移動し、ミーティング等は競技場外で行うこと。
- 競技場外(公園内・駐車場・レストハウス)にテント・シート等で占有スペースを設置しないこと。